

優良系統の研究過程 からの流出等の経路

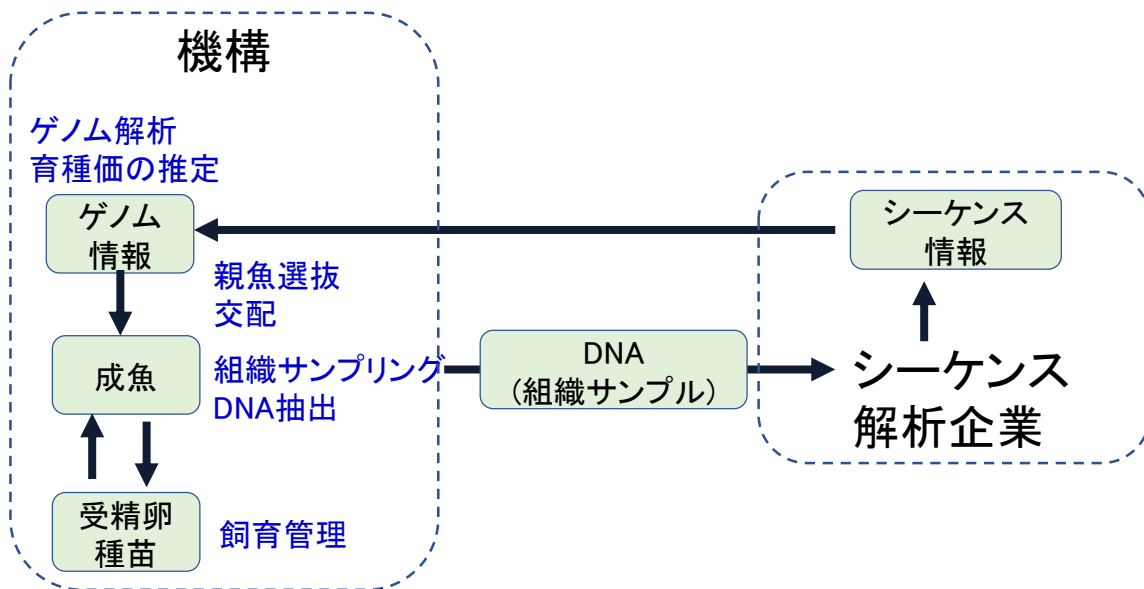
国立研究開発法人 水産研究教育機構
水産技術研究所

正岡委員 資料

これまで実施している優良系統研究
における取組モデルと流出等の経路

優良系統の取組例

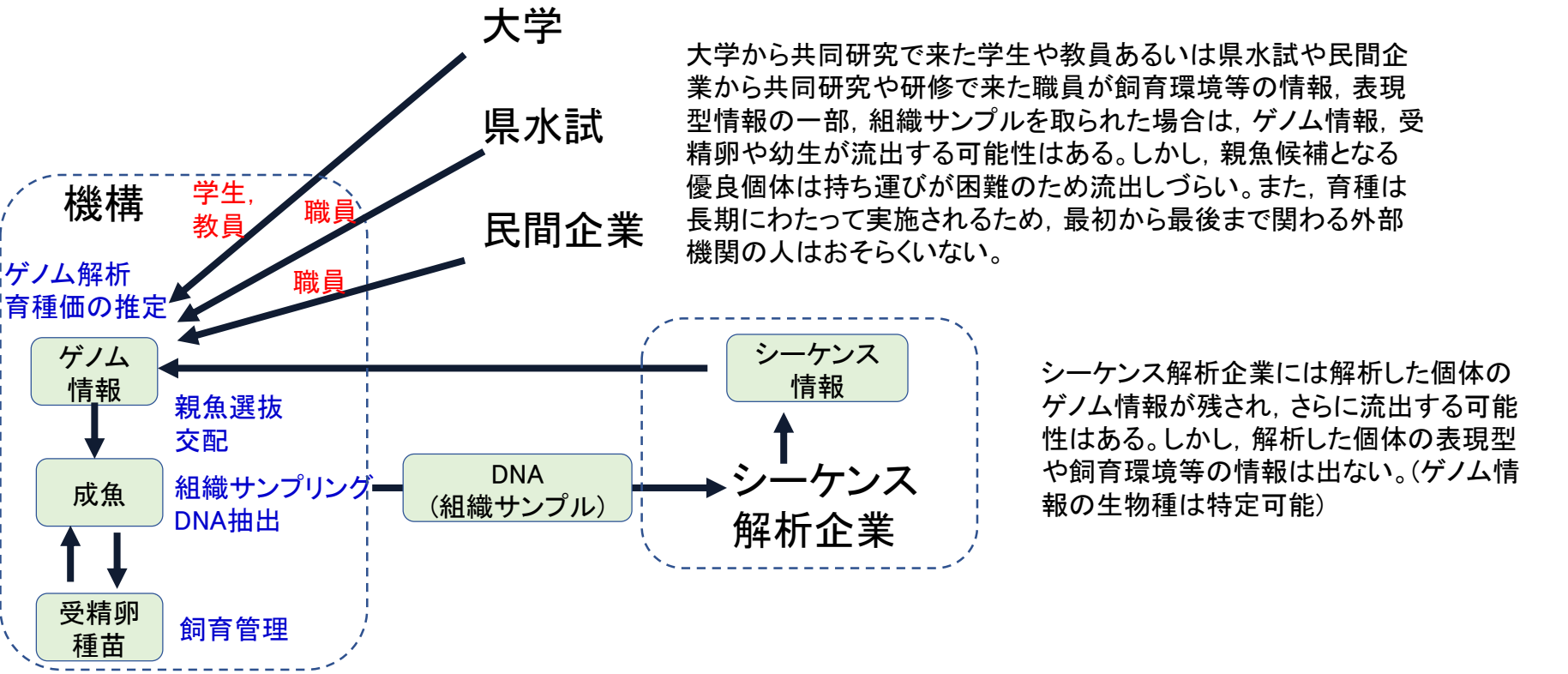
機構のみでゲノム情報等を元に交配選抜して育種を推進する場合



シーケンス解析企業には解析した個体のゲノム情報が残され、さらに流出する可能性はある。しかし、解析した個体の表現型や飼育環境等の情報は出ない。(ゲノム情報の生物種は特定可能)

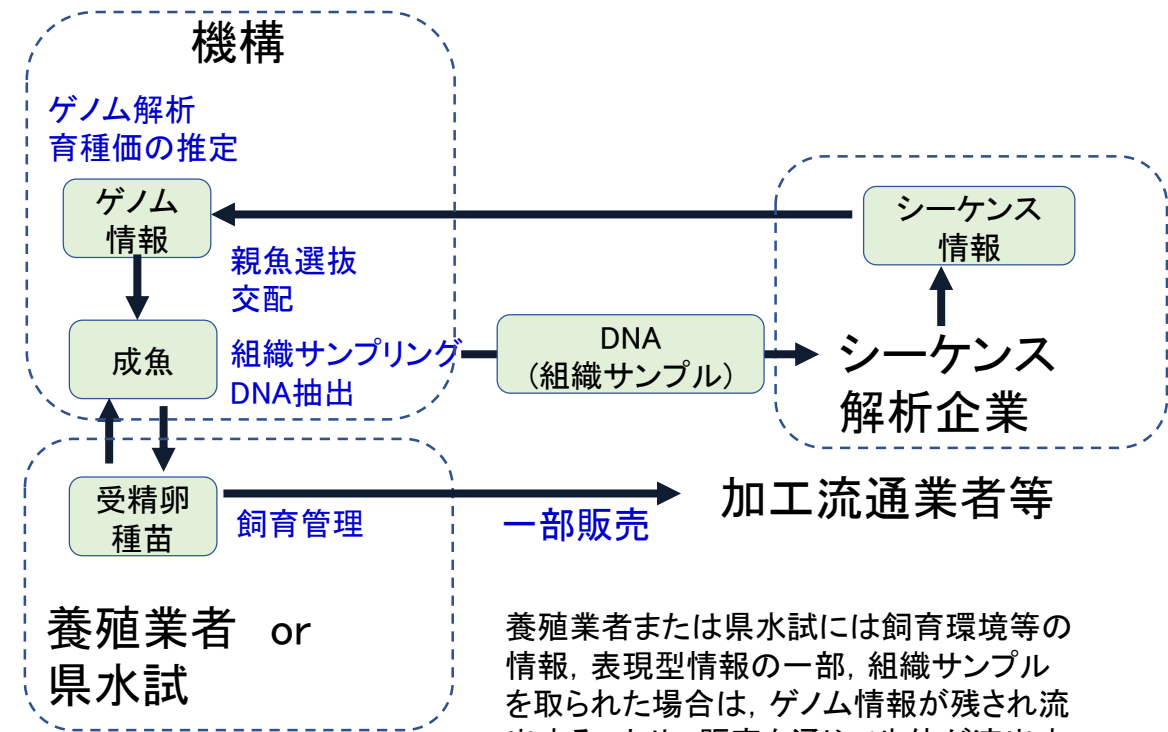
優良系統の取組例

共同研究や研修も利用して機構のみでゲノム情報等を元に交配選抜して育種を推進する場合



優良系統の取組例

養殖業者や県水試に飼育管理を依頼し、機構がゲノム情報等を元に交配選抜して育種を推進する場合

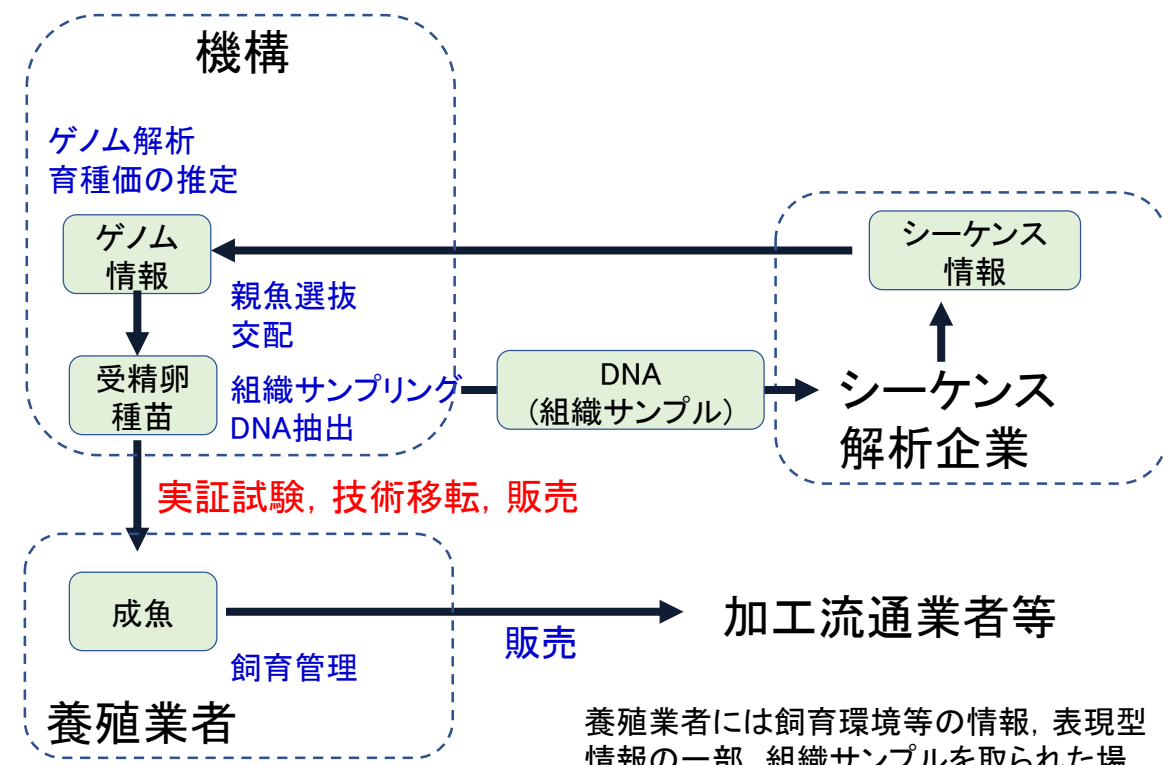


シーケンス解析企業には解析した個体のゲノム情報が残され、さらに流出する可能性はある。しかし、解析した個体の表現型や飼育環境等の情報、生体は流出しない。(ゲノム情報の生物種は特定可能)

養殖業者または県水試には飼育環境等の情報、表現型情報の一部、組織サンプルを取られた場合は、ゲノム情報が残され流出することや、販売を通じて生体が流出する可能性はある。しかし、親魚候補となる優良個体は回収するため流出しない。

優良系統の取組例

実証試験や技術移転及び機構からの販売により養殖業者が飼育管理し、販売する場合



シーケンス解析企業には解析した個体のゲノム情報が残され、さらに流出する可能性はある。しかし、解析した個体の表現型や飼育環境等の情報、生体は流出しない。(ゲノム情報の生物種は特定可能)

養殖業者には飼育環境等の情報、表現型情報の一部、組織サンプルを取られた場合は、ゲノム情報、生体が残され、さらに流出する可能性はある。しかし、育種途中である一世代の成魚が流出するだけで、親世代等のゲノム情報等の流出は無い。